

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

横浜ゴム株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市東尾道20番地

(3) 業種

自動車タイヤ・チューブ製造

2 計画の期間

本計画の期間は、平成2年(1990)年度を基準とする平成22(2010)年度から平成26(2014)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量[T]

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成2年度	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エネルギー 起源CO ₂	1.033	1.356 ▲31.3	1.513 ▲46.5	1.490 ▲44.2	1.415 ▲37.0	1.384 ▲34.0	1.356 ▲31.3
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算k1)	0.4706	0.6179 ▲31.3	0.6893 ▲46.5	0.6785 ▲44.2	0.6477 ▲37.0	0.6306 ▲34.0	0.6179 ▲31.3
実績に対する 自己評価	工場増設により固定分が増加したが、生産量の増加と年1%以上の目標を立てて活動する。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ボイラー燃料転換によるCO2の削減	ボイラー燃料の使用に伴う排出量を24%削減	L S A重油→都市ガス
2	電気使用量の削減	電気の使用量を10%削減	高効率照明器具への更新 ゴム押出機のインバータ化 押出機ローラーダイの小容量化 ポンプ、ファンのインバータ化 老朽化空調機の更新
3	燃料使用量の削減	燃料の使用量を5%削減	蒸気配管、温水配管等の断熱強化 蒸気ドレン、温水ドレン等の廃熱回収強化
4	自動車燃料使用量の削減	ガソリンの使用量を1%削減	アイドリングストップの徹底 輸送効率の向上

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を6%削減	・両面コピー，裏面利用等 ・分別収集及び資源化の徹底
	再資源化率の向上	再資源化率100%の維持	・リサイクル品の全品回収 ・廃棄物のリサイクル製品化の実施
	その他		・週1回の清掃奉仕活動の実施 ・「千年の杜プロジェクト」活動による植樹・育樹の推進 ・チャレンジ25キャンペーンへの参加

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。